

平成27年度 決算状況				人口増減率	人口密度	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造	都道府県名	団体名	市町村類型	IV-2
				27.1.1	209.57	27.1.1	174,892	172,247	22.2年国調	16	2027		
				2022年国調	821	27.1.1	175,719	173,186	17年国調				
				-2.2%	km ²	増減率	-0.5%	-0.5%					
歳入の状況 (単位:千円・%)													
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産	〇	×	×	×
地方税	25,242,915	36.3	25,242,915	66.1	第1次	1,941	100.0	2,646	旧工業	×	×	×	×
地方譲与税	606,248	0.9	606,248	1.6	第2次	2.3		2.8	低開発	×	×	×	×
利子割交付金	50,102	0.1	50,102	0.1	第3次	28,727		32,458	旧炭産	×	×	×	×
配当割交付金	163,522	0.2	163,522	0.4		34.0		34.5	山振	×	×	×	×
株式等譲渡所得割交付金	129,540	0.2	129,540	0.3		53,820		57,973	近畿	×	×	×	×
地方消費税	3,440,512	4.9	3,440,512	9.0		63.7		61.7	中部	×	×	×	×
ゴルフ場利用税交付金	16,911	0.0	16,911	0.0					財政健全化等	×	×	×	×
特別地方消費税交付金	-	-	-	-					財源超過	×	×	×	×
自動車取得税交付金	118,146	0.2	118,146	0.3									
軽油引取税交付金	-	-	-	-									
地方特例交付金	77,546	0.1	77,546	0.2									
地方交付税	9,823,145	14.1	8,152,621	21.4									
内 普通交付税	8,152,621	11.7	8,152,621	21.4									
内 特別交付税	1,670,524	2.4	-	-									
内 震災復興特別交付税	-	-	-	-									
(一般財源計)	39,668,587	57.0	37,998,063	99.5									
交通安全対策特別交付金	30,921	0.0	30,921	0.1									
分担金・負担金	792,972	1.1	-	-									
使用料	1,768,496	2.5	124,930	0.3									
手数料	392,526	0.6	1,854	0.0									
国庫支出金	8,499,939	12.2	-	-									
都道府県支出金	4,258,412	6.1	-	-									
財産収入	34,847	0.1	18,396	0.0									
寄附金	69,410	0.1	-	-									
繰越金	259,771	0.4	-	-									
繰入金	472,668	0.7	-	-									
諸収入	4,511,681	6.5	2,570	0.0									
うち地方債	8,778,600	12.6	-	-									
うち減取補填債(特例分)	-	-	-	-									
うち臨時財政対策債	3,095,800	4.5	-	-									
歳入合計	69,538,830	100.0	38,176,734	100.0									

性質別歳出の状況 (単位:千円・%)				目的別歳出の状況 (単位:千円・%)				区分		平成27年度(千円)	平成26年度(千円)		
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区分	決算額	構成比	(A)のうち	(A)の	基準財政収入額	21,395,054	20,656,196
人件費	10,366,650	15.1	8,968,365	8,363,668	20.3	議会費	528,912	0.8	8,378	528,912	基準財政需要額	28,845,698	27,712,195
うち職員給与	6,736,106	9.8	5,396,517	-	-	総務費	5,111,050	7.5	196,738	4,052,936	標準財政収入額	27,266,819	26,592,990
扶助費	12,766,672	18.6	4,513,619	4,420,436	10.7	民生費	21,814,932	31.9	483,446	10,746,671	標準財政規模	38,515,336	37,957,099
公債費	9,523,707	13.9	9,301,679	9,301,679	22.5	衛生費	5,242,155	7.7	69,925	4,404,060	実質収力指数	0.75	0.74
元利償還金	8,419,666	12.3	8,232,919	8,232,919	19.9	労働費	218,863	0.3	-	56,555	実質公債費比率(%)	2.5	1.3
一時借入金	3,930	0.0	3,930	3,930	0.0	農林水産業費	1,080,377	1.6	307,485	498,947	公債費負担比率(%)	21.3	21.5
(義務経費計)	32,657,029	47.7	22,783,663	22,085,783	53.5	商工費	4,766,019	7.0	288,513	1,340,698	判断実質赤字比率(%)	-	-
物件費	8,636,250	12.6	6,575,685	6,038,281	14.6	土木費	9,387,356	13.7	4,179,097	4,700,347	断念実質公債費比率(%)	15.2	15.1
維持修繕費	734,044	1.1	674,344	368,369	0.9	消防費	2,479,180	3.6	195,077	2,280,456	率化将来負担比率(%)	171.3	175.1
補助費等	6,266,220	9.2	5,350,254	1,586,802	3.8	教育費	8,270,356	12.1	3,580,631	4,630,256	積立金減額	2,279,716	2,024,010
うち一部事務組合負担金	254,376	0.4	230,397	66,478	0.2	災害復旧費	34,949	0.1	-	4,028	現在高特定目的	688,065	684,890
繰出金	6,312,593	9.2	5,334,367	4,776,477	11.6	公債	9,523,707	13.9	-	9,301,679	地方債現在高	3,168,129	3,356,605
積立金	72,175	0.1	61	-	-	諸支出金	-	-	-	-		111,699,097	111,340,163
投資・出資金・貸付金	4,435,306	6.5	662,685	8,479	0.0	前年度繰上充用金	-	-	-	-		1,076,356	881,892
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	歳出合計	68,457,856	100.0	9,309,290	42,545,545		-	-
投資的経費	9,344,239	13.6	1,164,486	34,864,191	84.5%	繰合計	9,604,458	14.0	306,517	256,700	債務負担行為(支出不足額)	4,559,913	6,441,114
うち人件費	173,401	0.3	173,401	-	-	下水道	1,854,590	2.7	38,660	23,909	物件等購入保証・補償その他	500,246	500,246
普通建設事業費	9,309,290	13.6	1,160,458	84.5%	84.5%	病院	1,361,032	1.9	38,660	38,660	取益事業収入	-	-
うち補助	4,651,471	6.8	361,163	84.5%	84.5%	事業	301,995	0.4	93	93	土地開発基金現在高	500,246	500,246
うち単独	4,458,481	6.5	755,745	(91.3%)	(91.3%)	等上水道	39,259	0.05	93	93	徴収率	98.7	94.6
災害復旧事業費	34,949	0.1	4,028	(減取補填債(特例分)及び臨時財政対策債除く)	-	国民健康保険	1,289,034	1.9	315	315	市町村民税	98.8	94.7
失業対策事業費	-	-	-	歳入一般財源等	-	その他	4,758,548	7.0	315	315	純固定資産税	98.6	94.0
歳出合計	68,457,856	100.0	42,545,545	43,626,519	84.5%							98.5	93.7

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)